

## 廿日市市大野地域景況調査報告書（2024年10月～2025年3月）

### 1. 大野地域及び広島県内商工会地域における2024年10月～2025年3月のDI値（景気動向指数）

		製造業		建設業		卸・小売業		サービス業	
		前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し
売上	大野地域	50.0	100.0	▲ 100.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	100.0	100.0
	旧廿日市市	10.0	▲ 10.0	16.7	0.0	▲ 33.3	▲ 44.4	5.9	▲ 5.9
	県内商工会地域	▲ 23.5	▲ 13.7	▲ 33.4	▲ 23.8	▲ 26.9	▲ 36.8	▲ 7.2	▲ 14.5
仕入単価	大野地域	100.0	100.0	50.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	旧廿日市市	50.0	30.0	83.3	66.7	88.9	77.8	42.9	42.9
	県内商工会地域	72.0	60.0	71.4	52.4	73.5	55.8	60.3	48.6
採算	大野地域	▲ 50.0	50.0	▲ 100.0	100.0	▲ 100.0	0.0	50.0	100.0
	旧廿日市市	70.0	40.0	16.7	33.3	44.4	22.2	35.3	35.3
	県内商工会地域	▲ 35.3	▲ 19.6	▲ 45.2	▲ 23.8	▲ 28.8	▲ 42.5	▲ 23.9	▲ 24.3

上記DI値からみた大野地域、旧廿日市市及び広島県内の景気動向であるが、売上については前年同期と比べて一部を除き、改善の傾向が見られる。また採算については、旧廿日市市においては一部改善もみられるものの、大野地域、県内商工会地域は今後の見通しも含めて厳しい状況が続いている。従前より続いていた仕入単価の上昇傾向であるが、こちらは高止まりもしくは依然として上昇傾向であることが伺える。

次に業種別に動向を見ていくと、製造業の売上は県内商工会地域は厳しさが残るものの、大野地域、旧廿日市市においては改善が見られる。仕入単価は依然として上昇傾向となっているものの、今後は高止まりの傾向もみられる。

建設業については、大野地域においては厳しさが感じられるとともに、仕入単価も高止まりしている。また採算についても、依然として厳しい状況が続いている。

卸・小売業においては、大野地域及び旧廿日市市内、県内商工会地域ともに依然として厳しい状況にあり、今後もその傾向が続くと予想されている。また、仕入単価は依然として上昇傾向が続いており、採算も含め非常に厳しいとの見方となっている。

サービス業においては、大野地域・旧廿日市市においては改善傾向が見られ、仕入価格も他業種ほどの上昇はうかがえない。今後の予測も改善の傾向であり、採算においても同様であるが、広島県内商工会地域においては依然として厳しい状況が続いている。

### 2. 大野地域サポーターの声

上記の、旧廿日市市及び広島県内の商工会地域の景況を踏まえたうえでの、大野地域サポーターの2024年10月～2025年3月の景況感は下記の通りであった。

業種	サポーターの声
【製造業】	○材料費は高止まりしている。 ○価格転嫁はできているが、大量生産であれば価格の引き下げの交渉はある。

	<p>○価格転嫁は出来ていないが、その代わりにこれまで無料としてきた配送料を有料とすることで対応している。</p> <p>○材料費は前期からは落ち着いており高止まりしている。</p>
【建設業】	<p>○材料費は前期から比べて大きな変化はなく高止まりしている。</p> <p>○10～12月は好調であったが、1月に入って寒さの影響もあり業況は厳しい。</p> <p>○人は足りているが出入りが激しい。</p> <p>○価格転嫁は出来ていると思う。</p> <p>○材料調達は以前のような困難さは解消できており、一時より下がっているものもある。</p> <p>○価格転嫁については毎月価格変更するなど対応できている。</p> <p>○廿日市以外の業者が入ってきているために、競争が激しくなっている。</p> <p>○腕の立つ下請けは常に仕事を出して繋ぎとめておく必要がある。</p>
【卸・小売業】	<p>○猛暑による品不足は落ち着いている。</p> <p>○物価高の影響で価格転嫁せざるを得ないが、消費者の財布のひもは固い</p> <p>○輸入品は円安の影響が大きく価格がどうしても高くなる。</p> <p>○そもそも需要が減っている。</p>
【サービス業】	<p>○保険料の高騰で以前と比べ最大で10万円の差が出る。</p> <p>○自動車保険は車の構造の変化により修理代が高騰するためそれに合わせて保険料も上がっている。</p> <p>○業界としては高齢化で人手不足が深刻化している。</p> <p>○土地は動いていると感じている。</p> <p>○建売は在庫が多いものの価格は上昇傾向にある。</p>

### 3. 全国商工会地域における2025年1月のDI値（景気動向指数）

～長引くコスト高により、先行きが不透明な状況である小規模企業景況～

DI	産業全体			製造業			建設業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	9.3	7.4	▲1.9	9.7	9.9	0.2	12.5	11.1	▲1.4
採算	▲16.4	▲17.5	▲1.1	▲18.2	▲18.9	▲0.7	▲15.8	▲16.5	▲0.7
資金繰り	▲14.7	▲14.7	0.0	▲15.5	▲15.0	0.5	▲16.3	▲15.4	0.9
業況	▲12.8	▲12.8	0.0	▲14.3	▲14.8	▲0.5	▲10.4	▲7.9	2.5

DI	小売業			サービス業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	6.1	2.4	▲3.7	9.1	6.1	▲3.0
採算	▲18.6	▲21.7	▲3.1	▲13.1	▲13.0	0.1
資金繰り	▲16.9	▲17.4	▲0.5	▲10.2	▲10.7	▲0.5
業況	▲18.4	▲19.4	▲1.0	▲8.0	▲9.0	▲1.0

<製造業>…業種により改善が見られるも、全体としては停滞気味の製造業

売上額・資金繰りDIがわずかに上昇し、採算・業況DIはわずかに低下した。

<建設業>…季節的な要因から一部で改善傾向が見られた建設業

売上額・採算DIがわずかに低下、資金繰りDIはわずかに上昇し、業況DIは小幅に上昇した。

<小売業>…改善傾向から、小幅な悪化に転じた小売業

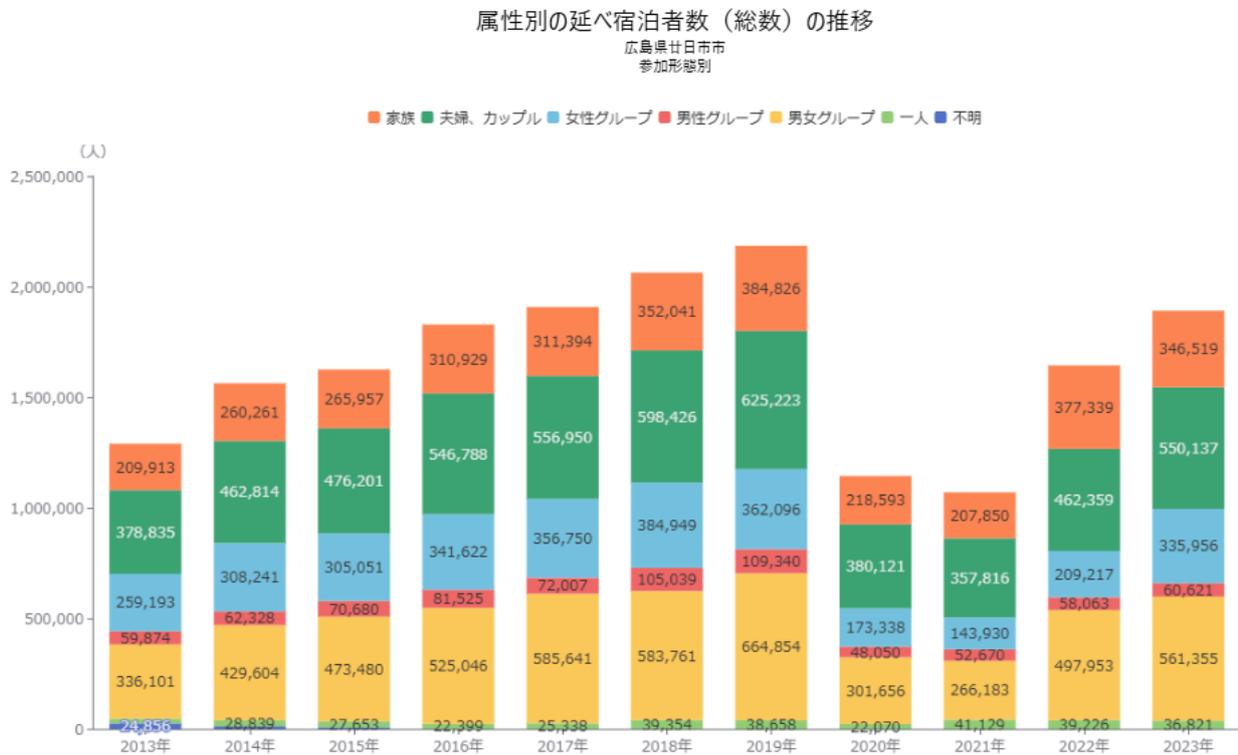
売上額・採算DIが小幅に低下、資金繰り・業況DIはわずかに低下した。

<サービス業>…業界全体で足踏み状態が続くサービス業

売上額DIが小幅に低下、資金繰り・業況DIはわずかに低下した。

#### 4. 「RESAS」(地域経済分析システム)を活用した地域の経済動向分析

下記のグラフは広島県廿日市市の属性別の宿泊者数の推移である。



2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊者が減少しているが、どの年も最も宿泊者形態で多いのは、男女グループで2023年においては以下のような宿泊者数となっている。

男女グループ	561,355人
夫婦・カップル	550,137人
家族	346,519人
女性グループ	335,956人
男性グループ	60,621人
一人	36,821人